

## 海保の知名度向上へ！ 岩手めんこいテレビへの取材協力

釜石海上保安部は、地元のテレビ局である「めんこいテレビ」から、「GOOD LUCK STORY」への出演依頼を受け、これに対応しました。

「GOOD LUCK STORY」は、2008年にスタートした岩手を拠点に頑張っている人にスポットをあて、毎週放送しているミニドキュメンタリー番組です。

今取材では、管理課の星地域防災対策官の勤務状況を中心に、海上保安官の仕事内容を紹介したいという依頼でした。

星官は2017年に海上保安学校に入校し、卒業後釜石海上保安部巡視船きたかみに配属となりました。1年半の乗船勤務を経て、2020年10月に二管区初となる女性地域防災対策官に異動となりました。

番組は、星官の日常の執務風景、鳥居管理課長のインタビュー、そして同番組お決まりである「グットラック」コールでエンディングを締める、という内容になっています。



きたかみをバックに撮影。  
本人は緊張して途中で何を話しているか分からなくなったと言っていましたが、放送ではいい編集が施されていました。



鳥居管理課長へのインタビュー風景。  
発言内容がほぼノーカット。  
取材陣の方々の感嘆の声があがりました。



同番組のお決まりの締め「グッドラックコール」  
全員でコールするのですが、中々揃いませんでした。  
星官の直筆で、学生募集をアピールしました。

実際の放送では、インタビュー前の準備している風景や、上司と会話しているところなど、ちょっとした「番組の裏」のような場面が使われています。船艇勤務とは違う、陸上で働く海上保安官のリアルな姿が映し出されていました。

この番組はYouTubeにアップされたので、たくさんの人が見ることができます。

海保の仕事を知らない人、公務員の堅く厳しいイメージがある人に、すこしでも魅力を感じてもらえるような内容になったのではないかと思います。

また、新型コロナウイルス感染防止対策で職員募集活動が思うように行えないなかで、自宅などで外出の自粛をしている若年層への呼びかけにもなることを期待しています。